



副センター長に医学研究科 高桑修教授が就任

2022年8月末に本学を退職された副センター長の医学研究科 榎原毅准教授の後任として、医学研究科 高桑修教授が副センター長に就任されました。

【高桑副センター長からのメッセージ】

副センター長を拝命しました医学研究科 医学・医療教育学の高桑修です。呼吸器内科医師として名市大病院（桜山）や西部医療センターで、がん医療や新型コロナの診療に携わってきました。現場で学ばせて頂いたことを教育という形で未来に繋げられればと思っています。

すでに高い評価をうけている名市大のSDGsですが、さらなる発展に貢献できるような微力ではありますが努めてまいります。どうぞよろしくお願い致します。



「NCUサステナビリティ・ワークショップ」を開催

2022年11月3日に、「NCUサステナビリティ・ワークショップ 2022 食から考える持続可能な都市 名古屋」（主催：名古屋市立大学、後援：名古屋市・名古屋市教育委員会・名古屋市立大学SDGsセンター）を開催しました。

当日は、本学学生その他、名古屋市立菊里高等学校、北高等学校、工芸高等学校、名東高等学校の生徒など、合わせて58名が参加しました。参加した学生・生徒たちは12のグループに分かれ、「食」に関する自分の問題意識を共有した上で、各グループで決めた問題に対するアプローチについて議論しました。「フードロス」「地産地消」「子どもの相対的貧困による食生活の乱れ」など、「食」に関する幅広い内容についての議論が行われました。



「就活生応援 身だしなみセミナー」を開催

2022年11月10日に、「就活生応援 身だしなみセミナー」を開催しました。これは、本学が参加している「名古屋市SDGs推進プラットフォーム」における会員間連携の一環として、花王グループカスタマーマーケティング株式会社様と連携し、本学学生向けに開催したものです。

SDGsのGoal5（ジェンダー平等を実現しよう）及びGoal8（働きがいも経済成長も）達成に向け、性別問わず幅広く「社会人としての身だしなみ」について学ぶ内容でした。当日は、男女合わせて32名の学生が参加し、スキンケア、メイク、ウェブ面接対策などの具体的な方法について学びました。

今後も、SDGsをキーワードに、企業等との連携を進めてまいります。



SDGs 17ゴールの紹介

ここでは、SDGs 17ゴールについて、ゴールごとに紹介します。今回は、SDG7（エネルギーをみんなに そしてクリーンに）について紹介します。

7 エネルギーをみんなに
そしてクリーンに



Goal7.すべての人々の、安価かつ信頼できる持続可能な近代的エネルギーへのアクセスを確保する

SDG7に関連する本学の取り組み例（SDGs活動レポートより）

2020年度 環境負荷低減のための省エネルギー・省資源の取り組み



活動の概要	(1) 2020年度の環境負荷低減のための省エネルギー・省資源の取り組み 省エネ法（エネルギーの使用の合理化等に関する法律）に基づき、川澄キャンパスは第一種エネルギー管理指定工場等に指定されており、省エネルギー推進委員会を置いてエネルギー使用量の削減に取り組んでいます。 【エネルギー使用量】 2020年度の大学全体のエネルギー使用量は、電力量約34,204千kWh、ガス約3,993千m ³ 、水道約291千m ³ となりました。対前年度比では、電力量使用量は約3.6%の削減、水道使用量は約1.4%の削減となりました。 【温室効果ガスの排出量】 2020年度の温室効果ガス排出量は25,711t-CO ₂ となり、前年度より1.4%低い値となりました。
	(2) 2020年度のその他の環境負荷低減のための省エネルギー・省資源の取り組み 【地球温暖化対策状況の報告】 名古屋市の「市民の健康と安全を確保する環境の保全に関する条例」（環境保全条例）に基づき、温室効果ガスの排出量等を、地球温暖化対策実施状況により名古屋市に報告しています。また、本学ウェブサイトにおいても、実施状況報告書・計画書を公開しております。 【省エネ法定報告に基づく事業者クラス分け評価】 本学は、エネルギーの使用の合理化等に関する法律（省エネ法）に基づき、経済産業省中部経済産業局に対し、エネルギー使用状況等に関する定期報告を行っています。 事業者クラス分け評価制度は、定期報告を評価し、提出する全ての事業者をS・A・B・Cの4段階へクラス分けするものですが、本学は2015年度実績より毎年度Sクラス（省エネが優良な事業者）の評価を得ています。
活動の時期	2020年度実績
関連URL	環境報告書2022

国際交流センター主催講演会「岐路に立つドイツのエネルギー政策」を開催



活動の概要	2022年11月11日、本学は国際交流センター主催講演会「岐路に立つドイツのエネルギー政策 欧州の最新事情から日本の今後を読み解く」を開催しました。講師に本学協定校のルートヴィクス・ハーフェン経済大学よりフランク・レーヴェン教授をお招きしたこの講演会には、本学学生・教職員合わせて36名が参加しました。 当日は、講師による欧州情勢・エネルギー問題等に関する講義の後、参加者とのQA、フリースカッションが行われました。参加者からは、今後のエネルギー戦略等に関する積極的な質問や発言がありました。
活動の時期	2022年11月
関連URL	https://www.nagoya-cu.ac.jp/english/news/2022111402/



その他のSDG7に関する取り組みについては、以下のサイトをご確認ください。

<https://www.nagoya-cu.ac.jp/07/>

お問い合わせ

名古屋市立大学SDGsセンター事務局
（企画推進課内）

〒467-8601 名古屋市瑞穂区瑞穂町字川澄 1

Tel : 052-852-8806

Mail : kikakuhyouka@sec.nagoya-cu.ac.jp

<https://www.nagoya-cu.ac.jp/sdgscenter/>

